

中国諸民族履きものの固有属性の検討 (2)

—女子履きものの機能性と装飾性について—

○下田敦子* 大澤清二* 笠井直美* 近藤四郎**

(*大妻女大人間生活科学研究所, **京都大)

【目的と方法】中国少数民族と漢族の伝統的履きものには、その多様性と独自性という点においてきわだった特徴が認められる。前報では、中国諸民族の伝統的な男子履きものにみられる固有属性¹⁾について検討し、併せてクラスター分析を行った。その結果、各民族の履きものには民族グループ的特質が認められ、また履きもの固有属性は当該民族の生業と密接に関連していることが明らかとなった。

本報では、中国諸民族(15民族)の女子の履きものの原資料(68点)を対象に吟味観察し、あらたに女子の履きものに特有の固有属性を加えて、男子履きもの固有属性との比較検討を行った。また女子の履きものの機能性と装飾性について検討した。

【結果】中国諸民族の履きもの固有属性数は、「素材」、「装飾」において男子よりも女子の方が多く認めることができた。また漢族の「纏足」や満族の「花盆底」などの履きものからもわかるように、固有属性が多数組み合わされた履きものほど、機能性に欠ける傾向があることが明かであった。

¹⁾ 大丸(1991)の衣服固有属性分類を基本分類とした。